

| DXリーダー研修 受講後アンケート結果

— 庁議報告資料 —

前橋市 情報政策課

2026年9月

DXリーダー研修概要

令和8年8月21日に山形CIO補佐官を講師として外部職場も含めた副参事・係長級職員等を対象に実施しました。業務改善の手法や生成AIの活用について学ぶとともに、Copilotを活用した演習を通じて、実践的なDX推進人材の育成を図りました。



講師：山形CIO補佐官

回答数 111件

アンケート結果サマリー

回答数

111件

受講後アンケート

研修満足度

82.9%

評価4・5の割合

講師の教え方

87.4%

評価4・5の割合

内容理解度

78.4%

評価4・5の割合

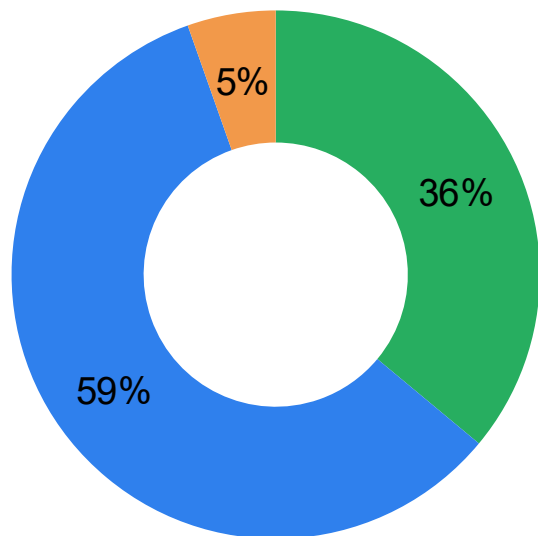
総括

研修全体は高い評価を得ており、94.6%が「具体的な行動を開始できる状態になった」と肯定的に回答。一方、改善活動を「企画・実行できる」とする自己認識は9.0%で、意欲を実践につなげる支援が必要。

研修後の行動開始に対する自己認識

【設問】 今回の研修内容を踏まえ、あなたは担当業務の改善や見直しを進めるために、具体的な行動を開始できる状態になったと思いますか。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない



「そう思う／ややそう思う」

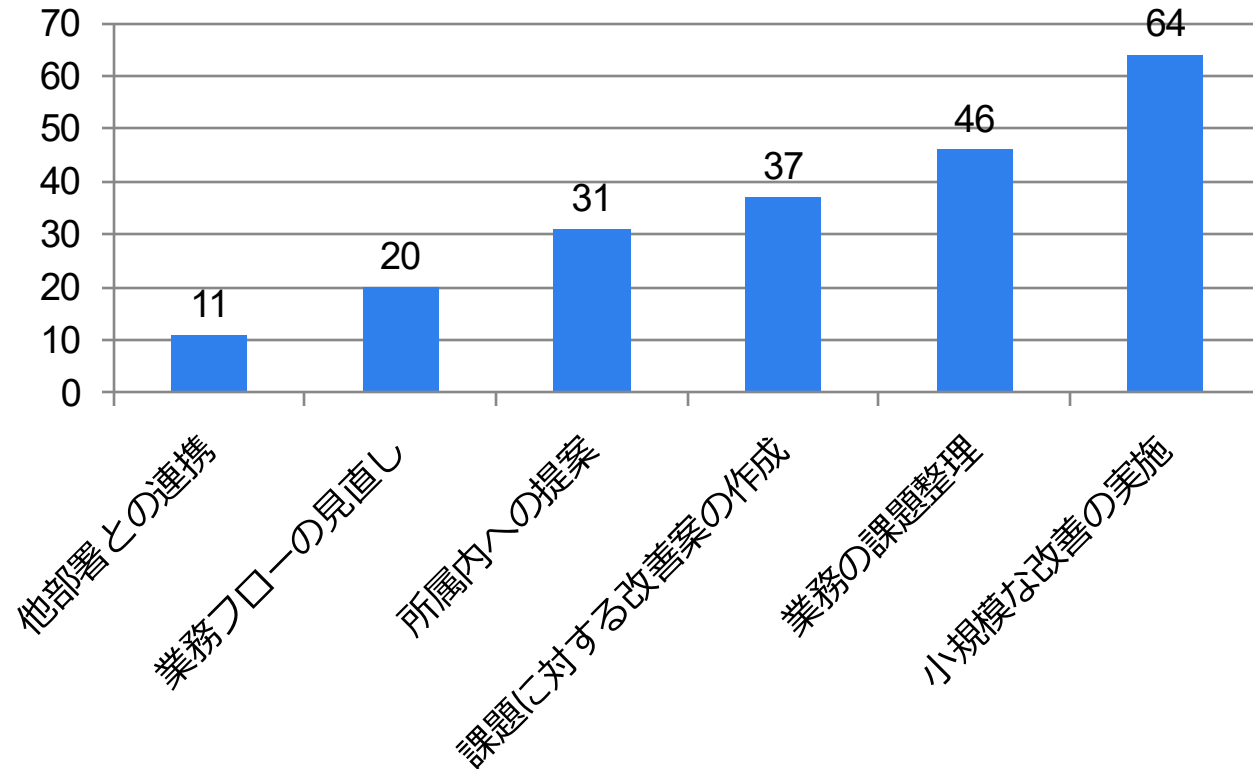
94.6%

105人が肯定的に回答

研修は、業務改善に向けて行動を始める意識づけにつながったと考えられる。

そう思う 36.0% + ややそう思う 58.6%

受講後に取り組みたいこと



上位3項目

1 小規模な改善の実施

64件 (57.7%)

2 業務の課題整理

46件 (41.4%)

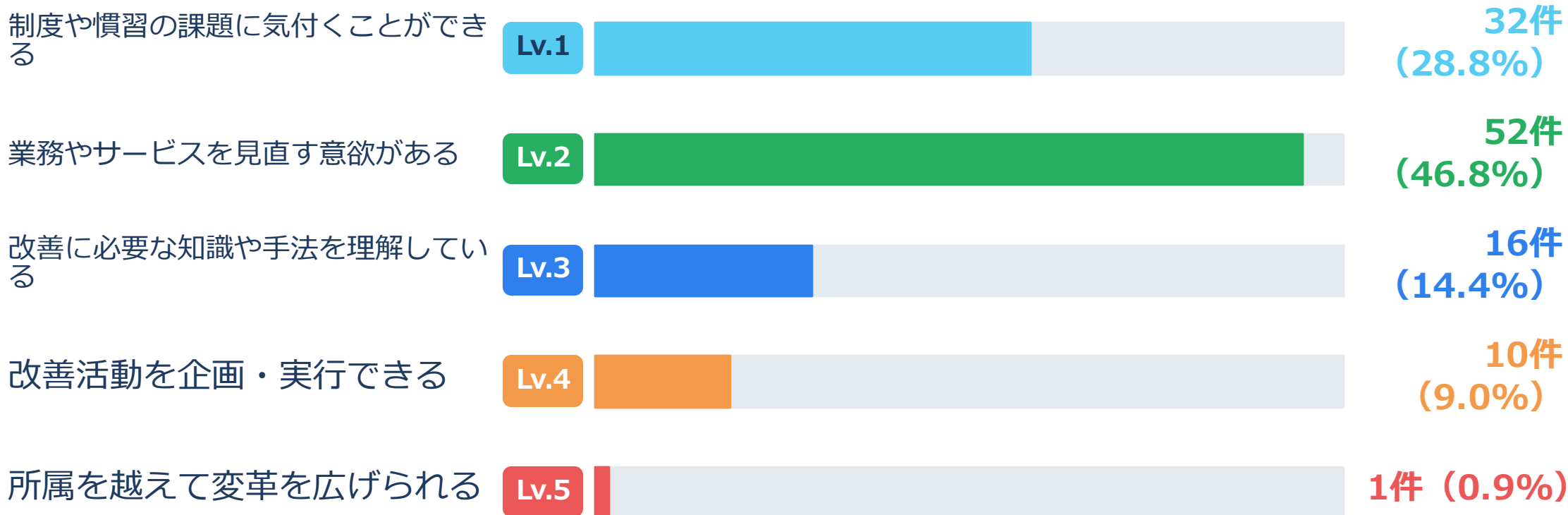
3 改善案の作成

37件 (33.3%)

「小さく始める」行動意向が最多

業務改善に向けた受講者の現在地

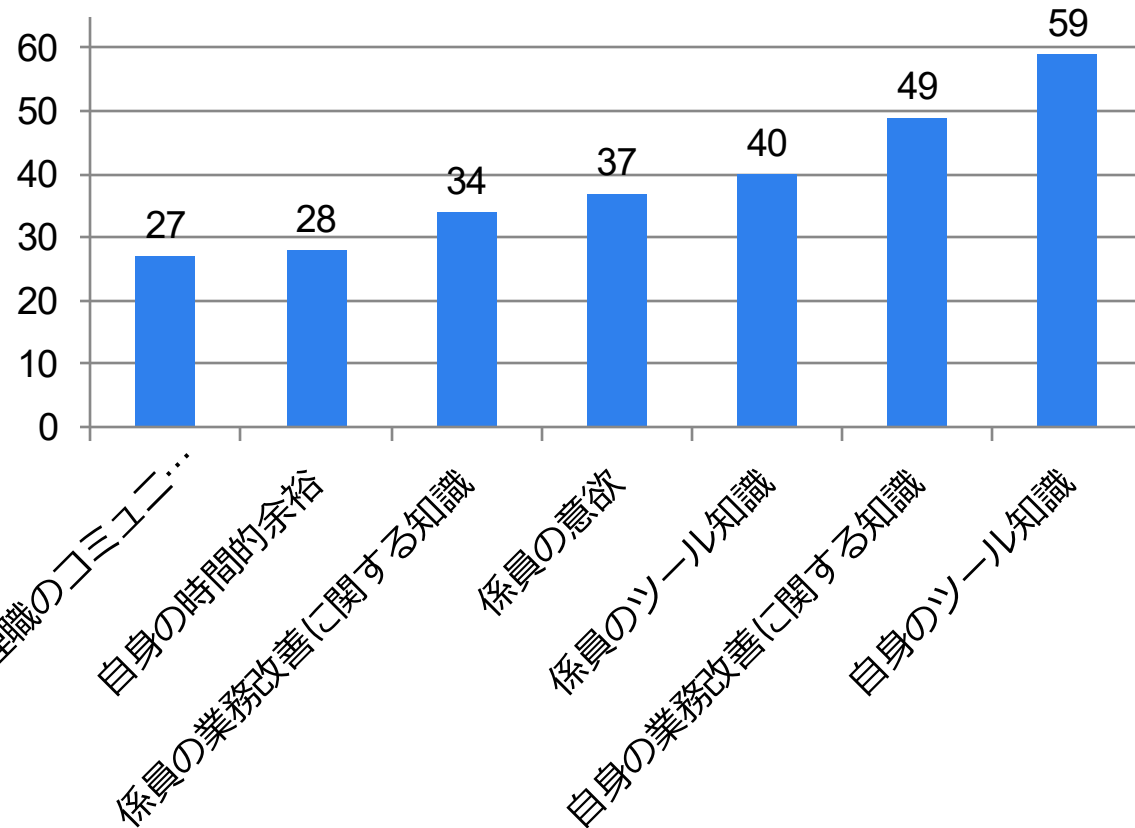
DX推進計画2.0のレベル対応（ADKAR） Lv.1 認識／Lv.2 意欲／Lv.3 知識／Lv.4 能力（2027年までの到達目標）／Lv.5 定着



意欲を持つ層は46.8%。

一方、「企画・実行できる」とする回答は9.0%で、実践段階への移行が課題。

業務改善を進めるために改善すべきこと



上位課題

1 自身のツール知識

59件 (53.2%)

2 自身の業務改善に関する知識

49件 (44.1%)

3 係員のツール知識

40件 (36.0%)

知識・スキル面の支援ニーズが上位

DX人材育成の実施状況と今後の予定

2026年7月15日

実施済み

DXマネージャー研修

対象：部課長級職員等

受講者数：106人

2026年8月21日

実施済み

DXリーダー研修

対象：副参事・係長級職員等

受講者数：111人

2026年10月20日

実施予定

DXリーダー研修（第2回）

WGメンバーを対象に実施予定

受講予定者の参加についてご配慮
をお願いします

通年の取組

階層別研修（令和7・8年度 係長研修）

受講者：99人／業務改善・BPRの知識と手法を習得

DX推進計画2.0の目標

2027年までに、各分類でレベル3（知識）からレベル4（能力）へ到達する職員の育成を目指します。

研修実施

DXマネージャー・DXリーダー育成

WG活動による実践

2027年目標

各分類でレベル4（能力）に到達する職員を育成